頑張る工業高校生

全国制覇（電工職種）を果たして

（第17回若年者・第22回高校生ものづくり大会）

愛知産業大学工業高等学校　副校長　野田　昌彦

1 はじめに

本校は、昭和36年愛知工芸高等学校として創立した伝統校である。現在では、愛知産業大学グループとして、大学院、短期大学、高等学校（２校）、専門学校（４校）、幼稚園、通信課程（３校）を併設する総合型学園であり、変革する時代においても、常に社会から期待される「人材育成」を担っている。また、設置学科としては、電気科、電子科、機械科の３学科であり、これまでに７万におよぶ卒業生を中部圏に輩出し「ものづくり愛知」を支え続けている。

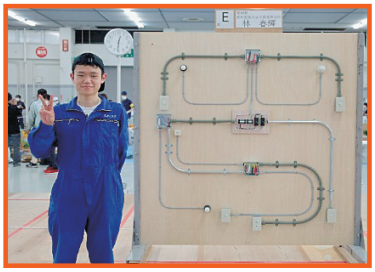
2 第17回若年者ものづくり競技大会電気工事職種「金賞」　電気科３年　林　春輝君

①本大会まで心掛けたことついて

体調をしっかり管理し生活リズムを整えることです。特に大会までに練習できる回数を考え、一つ一つの練習をより大切に、より慎重に行うよう心掛けました。

②電気工事の魅力、練習で辛かったことについて

自分の作業したものが実際に使えるようになること、そして世の中の人々の生活に欠かせないという達成感を得られることが魅力です。また、練習で辛かったことは、仕上がりや出来映えに配慮しなければならなかったことです。



第17回若年者ものづくり競技大会

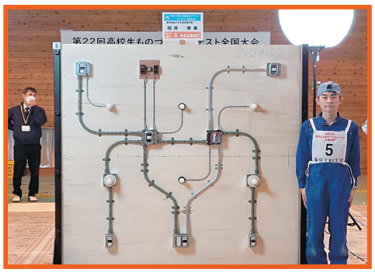
3 第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会「優勝」　電気科３年　櫻井　春希君

①本大会まで心掛けたことについて

「優勝」するという強い信念をもって、毎日練習することを心掛け頑張りました。

②電気工事の魅力、練習で辛かったことについて

自らが配線したものが正しく動作した時に達成感を感じます。また、練習で辛かったことは制限時間内に作業を終わらなければならないということです。入学当初は工具の名称や使い方など何も分からないことだらけで苦労しました。



第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会

4 後輩へのアドバイス（林君・櫻井君）

社会から必要とされる人材になるためには、工業高校での学習を土台として資格を取得することが一番です。自分のやる気さえあればどのような人材にもなれると思います。いつも目標と向上心をもって、自分のスキルを高めることが大切です。コロナ禍の影響で思うような高校生活を過ごすことはできませんでしたが、その中でも１年生の冬から練習を始め全国大会で優勝することができたことは高校生としての最高の想い出です。

5 おわりに

工業科の活躍の他に各種部活動（陸上ホッケー・マーチング・自転車・少林寺拳法）が全国大会に出場し活躍している。

今後も地域社会の期待に応えつつ、子供達の秘めた可能性を引き出すことのできる教育現場であり続けたい。